

平成21年  
10月1日より  
沖縄県

県民総ぐるみで飲酒運転  
根絶運動に取り組もう！

# 飲酒運転 根絶条例 施行！

「県民」、「事業者」、  
「飲食店営業者」等  
に対し責務を課して  
おります。



**ハンドルキーパー**

飲酒運転させないために！  
ハンドルキーパーを推進しよう。

自動車仲間と飲食店などへ行く場合は、お酒を飲まない人を決め、その人が、仲間を自宅まで送り届ける運動です。

飲酒運転は、重大な犯罪です。社会的な非難も大きく重い処罰に加え、事故を起こせば多大な賠償も求められます。

毎月1日は「飲酒運転の根絶運動の日」です。

沖縄県・沖縄県交通安全推進協議会

# 条例での責務とは？

## ＜県民の責務＞

全ての県民は、日頃から飲酒運転をしない、させない、許さないという強い意志を持って、家庭や地域、職場の日常生活及び活動において飲酒運転を根絶するための取組に努めるものとする。

## ＜事業者の責務＞

全ての事業者は、その事業の用に供する自動車等の運行に当たり、運転者が酒気を帯びていないことを確認する等飲酒運転の防止を図るとともに、従業員に対し、飲酒運転の根絶に関する教育、指導その他必要な措置を講ずるよう努めるものとする。

## ＜飲食店営業者の責務＞

全ての飲食店営業者等は、酒気を帯びた客が自動車等を運転することになるおそれがあるときは、飲酒運転をしないよう声かけをするなど状況に応じた適切な対応をするとともに、客の見やすい場所に飲酒運転の防止を呼びかける文書等を掲示するなどの措置を講ずるよう努めるものとする。

## ＜駐車場所有者の責務＞

駐車場を所有及び管理する者は、駐車場の利用者の見やすい場所に飲酒運転防止を呼びかける文書等を掲示する等飲酒運転を防止するために必要な措置を講ずるよう努めるものとする。

## シ ナ イ 飲酒運転四ない運動

運転者は・・・

- ◆運転するなら酒を飲まない
- ◆酒を飲んだら運転しない

家庭・地域では・・・







- ◆運転する人に酒をすすめない
- ◆酒を飲んだ人に運転させない



## アルコールの与える影響

### 覚えてくださいアルコールの1単位=純アルコール20gを含む酒量

ここにあげたのは、純アルコール約20グラムを含む酒類です。これを「アルコールの1単位」と呼びます。泡盛やウイスキーなどアルコール純度が高いものほど、量が少ないことがわかるでしょう。

 1単位 500ml ビール アルコール度 5%	 1単位 1合 180ml 日本酒 アルコール度 15%	 1単位 ダブル1杯 60ml ウイスキー アルコール度 43%	 1単位 小グラス2杯 200ml ワイン アルコール度 12%	 1単位 350ml チューハイ アルコール度 7%	 1単位 泡盛 コップ半分 100ml 泡盛 アルコール度 25%
---	--	--	--	---	--

## アルコールの処理にかかる時間

体内でのアルコール処理は体重1kgにつき、1時間で0.1gという速度です。

たとえば体重60kgの人が1単位処理するには3～4時間かかります。

体重60kgの人が飲酒して8時間後に勤務したとします、2単位ならアルコールは検出されませんが、3単位だと…？検出されることとなります。

これはあくまで目安です。日頃の飲みすぎがたたって肝臓が弱っていたり、風邪薬を飲んでいたりしたら、アルコールの処理にはもっと時間がかかるかもしれません。

出典：(社)日本損害保険協会「飲酒運転防止マニュアル」